

さらなる信頼関係の構築に向けて

OKIグループは、2006年度、「OKIグループ企業行動憲章」のグループ内への定着・浸透に向けて、憲章各項目におけるグループ各社の取り組み状況の再確認、憲章の内容を反映した「OKIグループ資材調達方針」の制定などを実施し、グループとして、あるいはお取引先とのパートナーシップのなかでCSRを推進するための体制を整備しました。

2007年度は、4月に新設した「CSR推進本部」を中心に、こうした取り組みをさらに深化させていきます。その一環として、CSR活動における重点項目を以下のように再整理しました。

- 「コンプライアンスの推進」を「コンプライアンスの徹底」とし、CSR活動全般を支える基本項目と位置づけます。
- 従来「コンプライアンスの推進」の一環として取り組んできた「情報セキュリティ」を新たに重点項目と位置づけ、グループを挙げてセキュリティへの取り組みを強化します。

その他の重点項目については継続し、下表に示すポイントを中心に取り組んでいきます。また、新たに制定した「OKIグループ行動規範」をグループの役員・社員一人ひとりに徹底するための活動を推進していきます。

CSR各活動領域における2007年度の注力ポイント

CSR活動領域	2006年度の主な取り組み	2007年度注力ポイント
コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ●登録リスクに関する業務監査を実施 ●セキュリティ体制強化とプライバシーマーク取得 ●コンプライアンス教育ツールの工夫による受講率向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●リスクマネジメントの着実な継続 ●各リスク評価の見直しとモニタリングの充実
情報セキュリティ		<ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティを新たにCSR活動の重点項目と位置づけ対応強化 ●情報セキュリティ委員会の設置によるグループ管理の徹底
お客様満足の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●保守作業の品質向上 ●品質事故対応ルールのOKI版制定とグループ展開 ●ユニバーサルデザイン技術の応用 	<ul style="list-style-type: none"> ●品質事故対応ルールのグループ各社版制定 ●品質保証活動・製品安全活動をお客様により知っていただくための活動を推進 ●ユニバーサルデザイン技術の応用拡大
株主・投資家への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ●海外機関投資家向けニュースメール配信を開始 ●個人投資家向けニュースメール配信加入者増加 ●投資家向けWebサイトをリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ●国内機関投資家向けIRイベントの充実(事業セミナー、工場見学等)
社員の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●インターンシップイベントなどの実施 ●グローバル化に向けた研修の充実 ●次世代育成支援第2次行動計画の策定 ●MTOPの導入とメンタルヘルス研修体系の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な人材の確保と育成 ●次世代育成支援のための環境づくり ●生産拠点の安全教育強化 ●こころの健康づくりのグループ企業展開
環境への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●小型・低消費電力化を実現する技術開発 ●環境関連法令に関する全社情報管理システムの改善、産業廃棄物広域認定制度の認定取得 ●製品含有化学物質情報システムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ●製品に対するグローバルな環境規制への確実な適合 ●事業活動における省エネルギーなど温室効果ガスの削減 ●製品の低消費電力化による温室効果ガスの削減 ●海外生産拠点への環境ISO統合認証範囲拡大
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の小学校改築を支援 ●支社や海外拠点での積極的な貢献活動 ●100円募金の参加口数が前年比約800口増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●「OKIらしい社会貢献」の再確認とグループ展開 ●ボランティア活動等に関する社員への情報発信強化

編集後記

OKIグループ「社会的責任レポート」の発行も3年目を迎えました。昨年度版からは、活動の進展状況をステークホルダーの皆様によりわかりやすくお伝えするため、OKIグループが重点的に推進する6つの活動項目に沿って誌面を構成し、報告年度におけるそれぞれの注力ポイントとその達成状況を記載する形をとっています。

「社会的責任レポート2007」でも昨年度の形を踏襲し、2006年度の取り組みを活動項目別にまとめました。この形式が定着したことにより、レポートを作成する過程において社内の関連部門が各活動の進展状況と課題を相互に共有し、次年度の活動に活かすことが可能になってきています。また、「社員の声」について、

アンケートなどを通じ読者の皆様からご評価いただいたことを受け、国内外のグループ社員をより多く紹介し、OKIグループとしての活動の様子をわかりやすくお伝えするよう努めました。

個々の記載内容にはまだまだ不十分な点も多いと認識しておりますが、これは各活動の課題が表れた結果でもあらうと、さらなる活動の充実、よりわかりやすい情報開示に努めてまいります。読者の皆様の忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

2007年9月
沖電気工業(株) CSR推進本部 CSR推進部